

研究に関するお知らせ

新型コロナウイルス感染症パンデミック期間における摂食障害児の急増に関する社会的要因
とその支援に関する研究

子どものメンタルヘルスに関する症例対照研究

国立研究開発法人 国立国際医療研究センター国府台病院児童精神科では、以下にご説明する研究を行います。この研究への参加を希望されない場合には、研究不参加とさせていただきますので、下記のお問い合わせ先にお申し出ください。お申し出になられても、いかなる不利益も受けることはございませんので、ご安心ください。

■研究目的・方法

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の感染拡大に伴い、2020年3月2日より全国一斉休校となりました。その後、緊急事態宣言が2020年4月7日～2021年10月1日に4度出されるなど非日常的な状況が続いています。子どもたちの精神的な調子(メンタルヘルス)を明らかにするため、全国一斉休校が始まった2020年3月2日より4回目の緊急事態宣言が解除された2021年10月1日にかけて児童精神科を初診した患者さんと、2017年4月1日から2020年3月1日までの全国一斉休校以前に初診した患者さんとを比較することで、非常時における子どもの臨床的特徴を調査し、今後の治療課題を見つけることが目的です。

■研究期間

理事長承認日～2025年3月31日

■研究の対象となる方

2016年4月1日～2021年10月1日の期間で、児童精神科を受診した摂食障害と診断された児童が対象です

■ご協力頂く内容

上記の対象期間中に診療録に記録された診療情報(年齢、性別、診断、処方薬剤、生活歴、成育歴、家族歴等)・心理状態に関するアンケート等を、研究に使用させていただきます。国府台病院児童精神科では、これらの情報はレジストリデータとして蓄積しており**患者さんに新たな負担をお願いすることはありません**。データベースに登録された時点で匿名化され、個人が特定されることはありません。データベースの使用に際しては、政府が定めた倫理指針に則って個人情報厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定されない形で行います。

■外部への試料・情報の提供

研究データの提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。匿名化対応表は、国立研究開発法人国立国際医療研究センターでは当センターの個人情報管理者が保管・管理します。

■研究計画書等の入手・閲覧方法・手続き等

あなたのご希望により、この研究に参加してくださった方々の個人情報の保護や、この研究の独創性の確保に支障がない範囲で、この研究の計画書や研究の方法に関する資料をご覧いただくことや文書でお渡しすることができます。ご希望される方は、どうぞ記載のお問合せ先にお申し出ください。

■個人情報の開示に係る手続きについて

本研究で収集させて頂いたご自身の情報を当院の規定に則った形でご覧頂くことも出来ます。ご希望される方は、どうぞ記載のお問合せ先にお申し出ください。

■当院の研究責任者：

国立研究開発法人国立国際医療研究センター国府台病院児童精神科 水本 有紀

■本研究全体の研究代表者：

国立研究開発法人国立国際医療研究センター国府台病院児童精神科 水本 有紀

■お問い合わせ先

実施機関名:国立研究開発法人国立国際医療研究センター

所属・役職:国府台病院児童精神科医師

担当者氏名:水本有紀

電話番号: 047-372-3501 (代表) 受付日時: 平日8時30分から17時15分